

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

「変革の四月」：自分らしさを磨く

右掲は昨年3月から始めた「独り言川柳」の713番目の作品(1月17日)です。最初は川柳を詠むにしても不安だったので「独り言」と断って始めました。続ける為に、パワーポイントで筆文字書き、それを画像化(JPEG)してブログやFacebookにアップする事で多くの方の目に触れるようにしました。友人にはメルマガにも掲載して「楽しんでるなあ」と感想を頂きました。本当に「好きな事」になったと実感していますが、もうすぐ1000号の壁がやって来ます。「効果通減の法則」があり、何事も初めの2~3回は伸び代がありますが、その後は伸び代が無くなりマンネリ化します。このマンネリ感を仕掛け(ブログ・Facebookなど)でレスポンスを得てモチベーションを維持して来ました。



100回の壁を突破して、次は1000回の壁。結構、高い壁。もう題にするネタが無くなるかも知れないという危機感があります。この解決に川柳を深める事で回避できればと思っています。何事も「感度と感性」が重要ですが、いろんな情報への感度を高めて視野を広くして、それを深めて感性を磨く事が基本と思っています。最近、季語にも関心を持ち学ぶようにしています。語彙力と言いますが、言葉の使い方が多くなりバリエーションが豊かになると思います。

毎年、「変革の四月」と言っ、何か新しいことを始めようと考えて来ました。今年7月に満75才になります。否が応でも後期高齢者になり、健康保険も変わります。体力的な衰えが顕著になり始めるので、気持ちだけでも若くありたいと思っています。雑誌の見出しに「脳と体のトレーニング」というキーワードがありました。「脳」は

自分らしさ：凡事一流

得意な分野だけでも良いのですが、普段使わない分野として「独り言川柳」で鍛えたいと思、「体」は日常の中で「歩き」と「食事」で鍛えたいと思。幸い、健康診断では内臓病がないので、これを維持できれば最幸と「運動」x「食事」x「社会」→「健康」の図式でフレイル対策を続けたいと思っています。

私自身の取柄は「継続力」にあると自覚しています。例えば、ブログ「障子を開けよ 外は広い」は2006年6月14日に始めており、カウンターが13万回に達しようとしています。約18年の継続力、最近では「独り言川柳」をアップするようになり、カウンターが日に50位アップするようになっています。まだまだ、フォローする人が少ないようですが、徐々に増やしてカウンターのアップが早くなるようにしてファロワーを増やしたいと考えています。

ワンポイント・アドバイス

若い時から「変革の四月」と言っ、次の課題を設定して来ました。しかし、来年には三男に事業承継する身なので、事業的には大きな変革を望んでいません。自分が若い人の邪魔をしないように心がけて、しかもリスクの少ない事で「感度」と「感性」を磨き続けたいと思っ、います。いろんな事の中には失敗もあると思っ、ますがチャレンジです。



このように自身のフレイル対策を兼ねて「独り言川柳」の1000回の壁を突破して、さらに、「感度と感性」を磨き「凡事一流」となっ、て行きたいと思っ、ています。「感度」はいろんな情報への柔軟性、「感性」は深める語彙力で表現で垢抜けたと思っ、ています。さらに、「凡事」は自分にとって「川柳」が当たり前になり、その回数が1000を突破して、新しい世界を切り拓きたいと思っ、ています。その先にある10000回の壁を目指してサミュエル・ウルマンの詩「青春」のように心の若さを保ち続けたいと思っ、います。「心」なので体力の限界はないので一生追求して「一流」と呼ばれるようになりたいと思っ、ています。

さて、「変革の四月」ですが、私の決意表明になりましたが、皆様におかれても「変革」があると良いですね。うちのお客様は大きくジャンプされて大変革になっておられます。チャンスは簡単には来ないので、「福の神様」は後ろ髪を追うような状態ならないで正面から歓迎できるようにしたいです。